R4.2.20
光家弘子

5ー先入観

位置づけ：

先入観とは、相互理解の三要素（ことば・心の傾向・先入観）の一つである。相互理解（お互いに理解し合うこと）の大前提となるのが、人は皆違うということである。何が違うのか？価値観であったり、関心事や生活習慣など…　この違う人たちの中で生きていく私たちは、人間関係を築くために常々話し合ってきた。そんな時(相互理解を深める時)に、特に留意しなければいけないのが、ことば・心の傾向・先入観である。本日はその三要素の**先入観**へと進む。

重要事項：

人は、誰しも先入観を持つ生き物である（先入観を持っていることすら気づいていない）ここでは、「先入観を持ってもよいが、それに振り回されることがないように」と解釈すること。なぜなら正確な判断を誤る場合があるからである。

大切なことは、先入観が人間関係（相互理解）に及ぼす影響を再認識し、どうすればいいのかを考え、実生活に役立たせたいところである。

テキスト P22 では

1．先入観とは　⇒　定義を理解する
2．先入観のはたらき　⇒　先入観がどのようにはたらき、それによって、どんな結果を招くかを知る
3．先入観のいろいろ　⇒　先入観の種類を知る

テキスト P24 では

4．人に対する先入観の変化　⇒　最初に持った先入観が、相手を知るにつれ変化していくことを理解する
5．先入観の形成　⇒　なぜ先入観なるものできてしまうのか
6．誤った先入観をつくらないために　⇒　どのようにすれば正確な見方や判断ができるのか